



## 義務教育課だより 10月号



### えひめジョブチャレンジU - 15事業

10月に入り、一年間の折り返しの時期を迎えました。平成29年度から開始した「えひめジョブチャレンジU - 15事業」も今年で6年目となりました。中学生段階で望ましい勤労観や職業観を形成することや、地元産業、地元企業での体験により地域の魅力を実感させることを目的として実施しており、今年度も県立中等教育学校を含めた県内全ての中学校において職場体験学習に取り組んでいます。義務教育課では、この事業を広く発信し、学校と家庭、地域、事業所等が情報を共有し、将来の愛媛を担っていく子供たちを、みんなで支えていきたいと考え、学校でも家庭でもインターネット環境があれば自由に閲覧ができる「えひめジョブチャレンジU - 15ホームページ (<https://ehime-jcu15.com>)」を立ち上げています。愛媛県内でキラリと光る魅力的な事業所の紹介など、中学生の職場体験学習に特化した情報のほか、小学生や小学校の先生方にも参考になる、キャリアパスポートの例示や進路学習、企業見学に使える情報などを掲載しています。また、愛媛県の「スゴ技」「すごモノ」「すご味」など県内企業の魅力を紹介するリンクも充実しています。

今年度からの新たな取組として、同ホームページ内で職場体験学習を終えた生徒から「ジョブチャレ体験レポート (<https://ehime-jcu15.com/reportlist>)」を募集しています。既に、多くの生徒が1人1台端末を使って、自分の言葉で職場体験学習の学びをレポートにまとめ投稿しています。レポートには5日間の貴重な体験から学んだことや事業所の魅力、将来のことなど、生徒の前向きな気持ちがたくさん記されており、本ホームページは、まさに夢を語れる場にもなっています。今後は、生徒から投稿されたレポートから企業の紹介動画を作成し、同ホームページ内で公開する予定です。10月以降も職場体験学習を実施する学校は多くあります。生徒の皆さんからのレポート投稿を楽しみにしています。



【ホームページ】



【レポート募集】

**職場体験レポート** おおず森のどうぶつ病院

作成者 大洲市立新谷中学校  
3年 氏名 山岡 翔平

職場で体験したこと

私は特に心に残った体験はトリミングです。難しいところ以外のシャンプーから飼い主さんにお迎えを頼む電話をするところまで体験をしました。犬の皮膚を傷つけないように、肌が荒れる原因になる抜け毛を飛ばせるように、シャワーヘッドを肌につけて流したり、鼻にお湯がかからないようにしたり、シャワーだけでも気を付けることが沢山ありました。また、シャワーのお湯には、消臭効果と殺菌効果があるオゾンが入っていることを知りました。少しでも効率良くできるようにして置いて欲しいなと思いました。トリミング以外にも手術の見学したり、受付の業務をしたりしながら、様々なことを学ぶことができました。この経験を今後に生かしていきたいです。

職場体験を通して学んだこと

私は、仕事の大変さを学びました。ただ動物を治せば良いのではなく、治療後の様子を見たり、飼い主の方へ症状や薬の内容を分かりやすく説明したりと、しなければいけない大変なことが沢山あることが分かりました。また、動物は人間とは違い、話すことができません。食欲や排泄物、様子などをしっかりと観察し、変わったことではないかを見ることも大切だと感じました。自分で体験することで多くのことを学ぶことができました。

【投稿されたレポート】

## 読書の秋

残暑厳しい9月でしたが、10月になって過ごしやすい日が増えてきました。秋の夜長に読書を楽しんでいる方も多いのではないのでしょうか。読書は、子供にとってメリットが多くあります。新しい発見や出会い、夢が得られるのが読書です。また、自分のペースで読みたいときに読みたいだけ読めるのも読書の魅力の一つです。読書と学力の関係について、1日30分～60分程度の適度な読書は学力と相関関係があると言われてしています。今年度の全国学力・学習状況調査においては、新聞を「ほぼ毎日」読む児童生徒の平均正答率は、「ほとんど、または全く読まない」児童生徒と比べて高く、新聞を読む頻度が多いほど、正答率が高い傾向がみられました。一部、研究所の調査によると、読書量が多いほど知識が高まり、読書量の多い子供は単に多くの本を読んでいるだけでなく、読み方を工夫したり自分に役立つことを理解したりしていると言われてしています。

義務教育課ではこれまで、子供たちの読書活動を充実させるために読書通帳を作成し、県内公立小学校4～6年生全員に配付してきました。読書通帳を活用した児童生徒からは「記録がたまっていくことが楽しみ」、「今後も使用したい」、「読書への親しみがわく」など、先生方からは「読書への意欲が向上する」、「引き続き配付してもらいたい」、「新たなジャンルへの契機になる」など前向きな感想や意見をいただいています。現在、CBTシステムと連動した「電子版読書通帳 Web アプリ」を開発しており、今年度中の運用開始を目指しています。この電子版読書通帳は、読書記録だけでなく読書量ランキングや人気書籍の表示機能、CBTシステムにおける各種データとの紐付け機能が搭載される予定です。1人1台端末を活用し読書通帳がデジタル化されることで、読書の新たな楽しみが味わえます。灯火親し、子供たちと一緒に「読書の秋」を楽しんでください。

